

対応素材

セメント瓦・カラーベスト・モニエル瓦・金属屋根(カラー鋼板・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム・フッ素鋼板)・波形スレート(屋根)・各種旧塗膜

試験結果

【シャネツテックII F-JY、シャネツテックII Si-JY】
 ■JIS K 5658 建築用耐候性上塗り塗料 [容器の中の状態] [表面乾燥性] [塗膜の外観] [隠ぺい率] [鏡面光沢度] [耐衝撃性] [付着性(クロスカット法)] [重ね塗り適合性] [耐アルカリ性] [耐酸性] [耐湿潤冷熱繰返し性] 全て合格

セメント瓦・カラーベスト・波形スレート(屋根)の標準施工仕様

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテックシーラー A液	12.5kg	5	—	0.15~0.30kg/m ²	1~2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	サーモテックシーラー B液	2.5kg	1							
上塗 (F-JY)	シャネツテックII F-JY A液	14kg	7	ローラー:0~1.3ℓ エアレス:0~2.5ℓ (アステックシンナー-DX)	0.26~0.32kg/m ²	2	3時間以上 72時間以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	シャネツテックII-JY B液	2kg	1							
上塗 (Si-JY)	シャネツテックII Si-JY A液	14kg	7	ローラー:0~1.3ℓ エアレス:0~2.5ℓ (アステックシンナー-DX)	0.26~0.32kg/m ²	2	3時間以上 72時間以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	シャネツテックII-JY B液	2kg	1							

モニエル瓦の標準施工仕様

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	モニエルパワープライマー A液	6kg	2	5ℓ(清水)	0.15~0.30kg/m ²	1~2	8時間以上 7日以内	16時間以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	モニエルパワープライマー B液	3kg	1							
上塗 (F-JY)	シャネツテックII F-JY A液	14kg	7	ローラー:0~1.3ℓ エアレス:0~2.5ℓ (アステックシンナー-DX)	0.26~0.32kg/m ²	2	3時間以上 72時間以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	シャネツテックII-JY B液	2kg	1							
上塗 (Si-JY)	シャネツテックII Si-JY A液	14kg	7	ローラー:0~1.3ℓ エアレス:0~2.5ℓ (アステックシンナー-DX)	0.26~0.32kg/m ²	2	3時間以上 72時間以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	シャネツテックII-JY B液	2kg	1							

金属屋根(カラー鋼板^{*1}・ガルバリウム鋼板・ステンレス・アルミニウム)の標準施工仕様 ^{*1:フッ素鋼板は除く}

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗 ^{*2}	① エゴパワーメタルJY A液	14.4kg	9	0.8~2.4ℓ (アステックシンナー-DX)	0.14~0.17kg/m ²	1	—	4時間以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	エゴパワーメタルJY B液	1.6kg	1							
②	サーモテックメタルプライマー ^{*3}	16kg	—	0.8~1.6ℓ (アステックシンナー-DX)	0.13~0.15kg/m ²	1	—	4時間以上 7日以内	—	ローラー/ エアレス
	上塗 (F-JY)	シャネツテックII F-JY A液	14kg	7	ローラー:0~1.3ℓ エアレス:0~2.5ℓ (アステックシンナー-DX)	0.26~0.32kg/m ²	2	3時間以上 72時間以内	—	24時間 以上
シャネツテックII-JY B液		2kg	1							
上塗 (Si-JY)	シャネツテックII Si-JY A液	14kg	7	ローラー:0~1.3ℓ エアレス:0~2.5ℓ (アステックシンナー-DX)	0.26~0.32kg/m ²	2	3時間以上 72時間以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	シャネツテックII-JY B液	2kg	1							

^{*2}:下塗材に関しては下地の種類や状態に応じて①、②のいずれかをご使用ください。

^{*3}:施工及び乾燥時の気象条件、金属下地の温度、また狭窄部(狭くすばまった部位)やトタンの継ぎ目部分等では、乾燥硬化に時間を要してしまう場合があります。乾燥硬化していない状態で上塗りを施工した場合、本来の下地への付着性能が発揮できなくなる場合がありますのでご注意ください。

金属屋根(フッ素鋼板)の標準施工仕様

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	フッ素鋼板用パワープライマー-JY A液	14kg	14	ローラーの場合: 0.8~2.3ℓ エアレスの場合: 2.3~4.5ℓ (FPP専用シンナー)	黒・グレー・赤さびの場合: ローラー:0.11~0.15kg/m ² エアレス:0.15~0.17kg/m ² 白の場合: ローラー:0.15~0.17kg/m ² エアレス:0.17~0.19kg/m ²	1	—	4時間以上 10日以内	—	ローラー/ エアレス
	フッ素鋼板用パワープライマー-JY B液	1kg	1							
上塗 (F-JY)	シャネツテックII F-JY A液	14kg	7	ローラー:0~1.3ℓ エアレス:0~2.5ℓ (アステックシンナー-DX)	0.26~0.32kg/m ²	2	3時間以上 72時間以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	シャネツテックII-JY B液	2kg	1							
上塗 (Si-JY)	シャネツテックII Si-JY A液	14kg	7	ローラー:0~1.3ℓ エアレス:0~2.5ℓ (アステックシンナー-DX)	0.26~0.32kg/m ²	2	3時間以上 72時間以内	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス
	シャネツテックII-JY B液	2kg	1							

下地調整

- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。

施工上の注意

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ウールローラー施工の場合、塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- 上記塗布量及び塗回数は下地の材質・状態等で増える場合があります。
- 溶剤系塗料では火災・中毒等のおそれがあるため、保管・取扱いには十分に注意してください。
- 塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
- トタンの継ぎ目、折り曲げ部分は、塗膜が薄くなりがちですので、先に拾い塗りをすることをお勧めします。

製品データ

荷姿	16kgセット(A液:14kg、B液:2kg)
塗布量	0.26~0.32kg/m ²
希釈	ローラーの場合:0~1.3ℓ(アステックシンナー-DX) エアレスの場合:0~2.5ℓ(アステックシンナー-DX)
艶	艶有
色	屋根用20色限定
可使用時間	6時間以内(23℃)

- 製品については下記までお問合せください。



製造・販売元 株式会社 アステックペイント

本社 〒812-0013
福岡県福岡市博多区博多駅東3-14-1 9F

astecpaints.jp

ver.202501

屋根の温度上昇を抑え、建物を永く守り続ける

シャネツテックII シリーズ



弱溶剤形二液屋根用遮熱フッ素系上塗材

シャネツテックII F-JY

弱溶剤形二液屋根用遮熱シリコン系上塗材

シャネツテックII Si-JY

SHANETSU TECH II SERIES

屋根の温度上昇を抑えることで住環境の
快適化に貢献する省エネ遮熱塗料

「シャネツテックⅡシリーズ」

近年、気候変動により夏場の気温は上がり、真夏日や猛暑日が増えています。

この過酷な環境の中で、屋根は最も太陽光(紫外線・熱)や雨の影響を受けやすい部位です。

だからこそ、屋根塗装には熱や劣化要因に耐性を持つ塗料が求められます。

シャネツテックⅡシリーズは、過酷な環境から屋根を守り、生活環境の快適化に貢献するために生まれた屋根用遮熱塗料。従来のフッ素・シリコン塗料を凌ぐ高い性能を発揮し、住まいを長く快適に守り続けます。



屋根を永く守り、生活環境の快適化に貢献する シャネツテックⅡシリーズの価値

遮熱性

温度上昇の原因となる近赤外線を効果的に反射する「遮熱顔料」と、吸収した熱を放射する「熱放射セラミック」を採用。室内への熱の侵入を抑制するとともに、蓄熱による屋根へのダメージを軽減することができるため、建物を長く快適に保つことが期待できます。[※] ※建物構造・断熱構造・開口部(ガラス窓等)の大きさ・数によって温度変化の程度に差が出ます。

高耐候性

塗膜の劣化要因となる紫外線を吸収し、熱に変換・放射する「紫外線吸収剤」により、紫外線の影響を受けにくい塗膜を形成。さらに、劣化要因「ラジカル」の発生を防ぐ「ラジカル制御型白色顔料」と、発生したラジカルを捕捉する「HALS(光安定剤)[※]」を配合。これらの技術により塗膜の劣化を抑制し、屋根を長期間保護します。

[※]HALS:Hindered Amine Light Stabilizer(光安定剤)

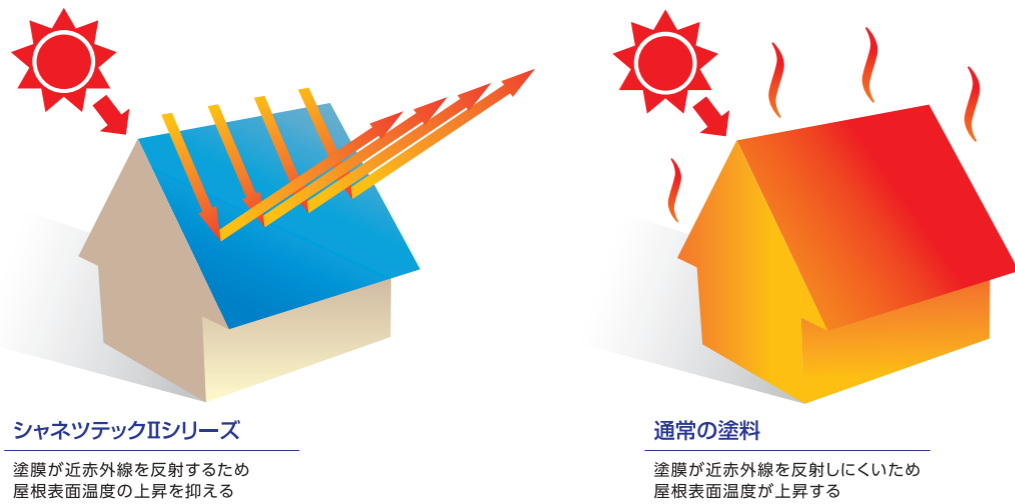
美観

全20色の豊富なカラーラインナップを展開。光沢のある鮮やかな仕上がりで屋根の美観を蘇らせます。

遮熱性

太陽光を効果的に反射することで
屋根の温度上昇を抑える

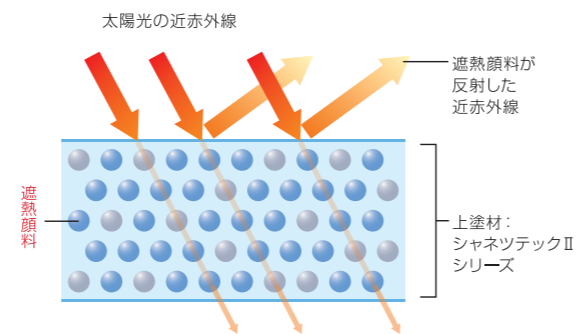
太陽光の波長のうち温度上昇の原因となるのは近赤外線(波長780~2500nm)。シャネツテックIIシリーズは近赤外線の反射・熱の放射により、屋根の温度上昇を抑えることで、生活環境の快適化に貢献します。 ※建物構造・断熱構造・開口部(ガラス窓等)の大きさ・数によって温度変化の程度に差が出ます。



屋根の温度上昇を抑える「遮熱顔料」と「熱放射セラミック」

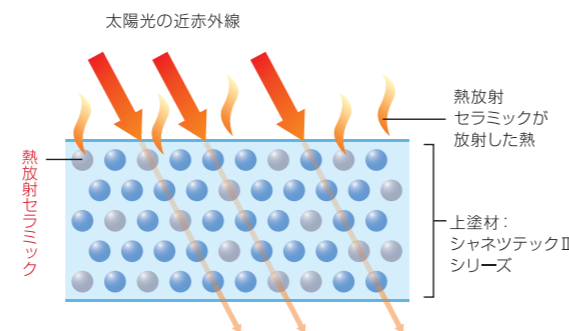
遮熱顔料

シャネツテックIIシリーズは温度上昇の原因となる近赤外線を効果的に反射し、屋根の温度上昇を抑えることで、生活環境の快適化に貢献します。



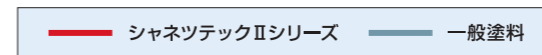
熱放射セラミック

吸収した熱を放射する「熱放射セラミック」を採用。熱を逃がすことで屋根への蓄熱を抑制するため、熱による建物へのダメージを軽減します。

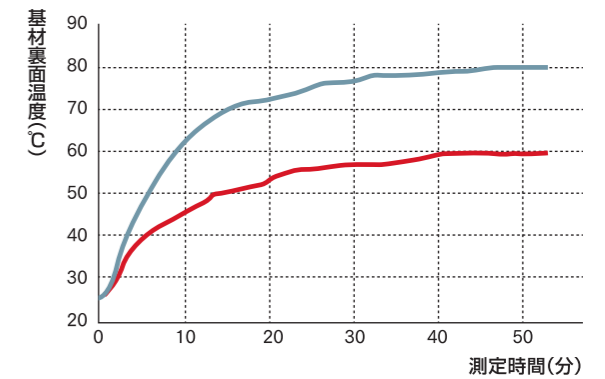


試験結果 ※本試験ではシャネツテックII Si-JYを使用

シャネツテックIIシリーズと一般塗料を塗布した基材に300Wのレフランプを照射し、機材の裏面温度を測定。
一般塗料の基材は最高80℃に達したのに対し、シャネツテックIIシリーズでは60℃程度と20℃以上の温度差が生じ、高い遮熱性が実証されました。



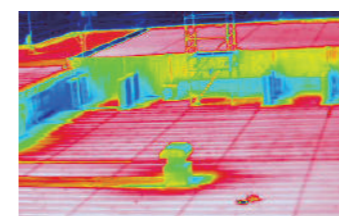
■ 遮熱試験
厚さ:5mm新生瓦 色相:グレー 300Wレフランプ照射



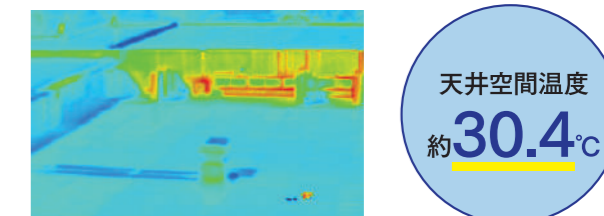
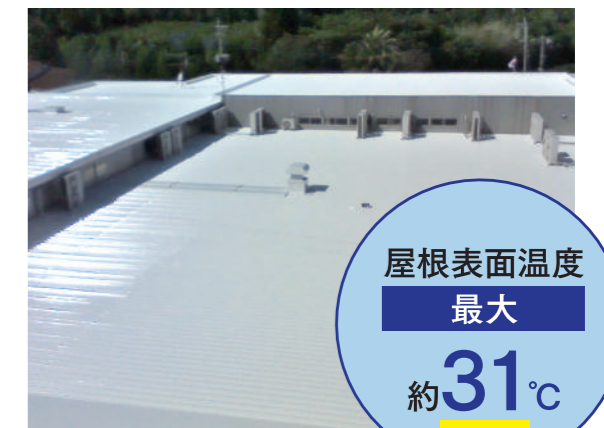
遮熱効果検証 ※本試験ではシャネツテックII Si-JYを使用

工場の金属屋根表面と、天井空間の屋根裏面より約30cmの箇所で、シャネツテックIIシリーズの施工前と施工後の温度測定を実施しました。その結果、屋根表面では27℃、天井空間では17.7℃の温度差が生じ、シャネツテックIIシリーズを施工することで高い遮熱効果を付与できることが実証されました。

■ 施工前 (8/12 14:00頃撮影)



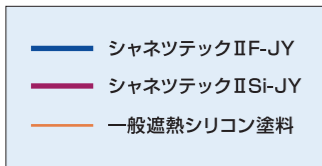
■ 施工後 (9/28 14:00頃撮影)



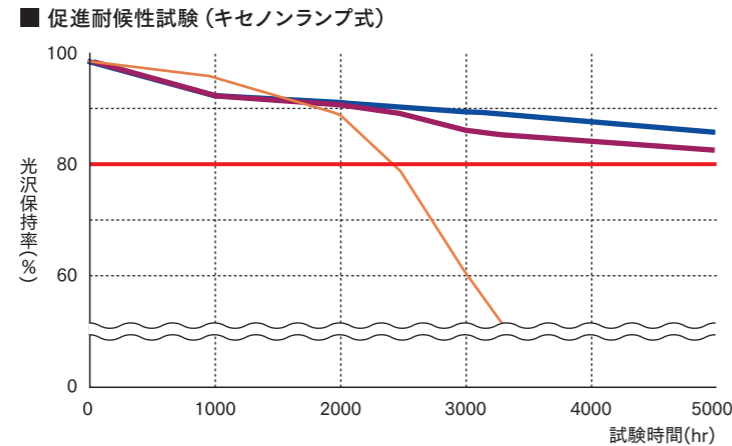
高耐候性

紫外線などの劣化要因に対して優れた耐性を発揮し、屋根を長期間保護する

促進耐候性試験(キセノンランプ式)



※実測値をもとに、グラフをなだらかに調整しております。
 ※あくまで試験環境下における実測値であり、耐候性を保証するものではありません。実際の自然ばく露環境下では、下地の状態、施工方法、気象条件により耐候性は異なる場合があります。



シャネツテックII F-JY
 促進耐候性試験(キセノンランプ式)において16~20年相当*経過後も光沢保持率80%以上を保持

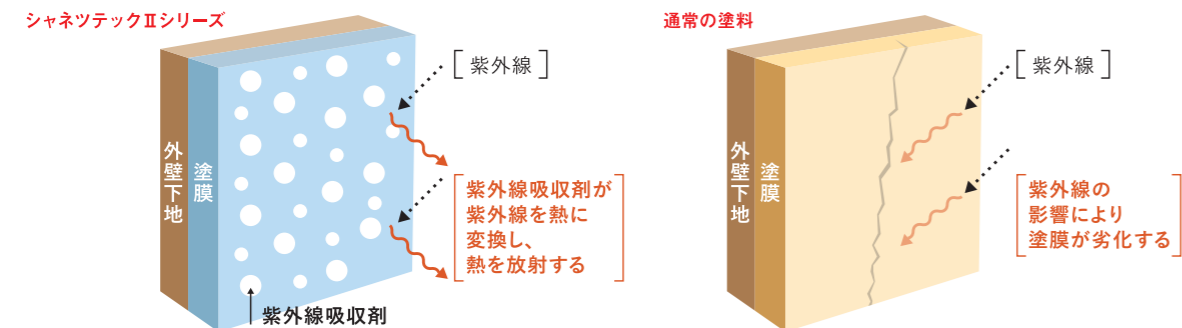
シャネツテックII Si-JY
 促進耐候性試験(キセノンランプ式)において13~16年相当*経過後も光沢保持率80%以上を保持

*期待耐用年数

シャネツテックIIシリーズが高耐候性を発揮できる2つの理由

① 紫外線吸収剤により紫外線の影響を軽減

「紫外線吸収剤」は、塗膜の劣化要因である紫外線を吸収し、熱に変換・放射する劣化抑制添加剤です。シャネツテックIIシリーズは、この紫外線吸収剤により塗膜が紫外線の影響を受けにくいいため、優れた耐候性を実現しました。



② 劣化要因「ラジカル」の発生を抑制

塗料に含まれる顔料の主成分「酸化チタン」は、紫外線の影響を受けることで「ラジカル」と呼ばれる劣化因子を発生させます。ラジカルによって樹脂の結合が破壊されると、塗膜の劣化が進行してしまいます。シャネツテックIIシリーズは、ラジカルの発生を抑える2つの技術により、塗膜の劣化を抑制します。

技術① ラジカル制御型白色顔料

ラジカルが発生しにくく、ラジカルが発生した場合にもシールド層がラジカルの放出を防ぐため、樹脂の破壊を抑えます。



技術② ラジカルを捕捉するHALS*

ラジカルを捕捉する「HALS(光安定剤*)」を配合。ラジカル制御型白色顔料の補完として、ラジカルによる塗膜劣化を抑制します。 *HALS:Hindered Amine Light Stabilizer(光安定剤)



美観 全20色の豊富なカラーラインナップ展開

スタンダードな濃彩色から近年人気の淡彩色まで幅広いラインナップからお好みの色をお選びいただけます。

16色でJIS K 5675 7.8(日射反射率の試験項目)合格*。高い反射率により優れた遮熱効果を発揮します。

※9201シルバーグレイ、9204ジェイドグリーン、9205ナチュラルベージュ、9209クレイを除く16色

8113 トゥルーホワイト 近赤外線:82.1%(全日射:87.0%)	9110 クレタグレイ 近赤外線:58.9%(全日射:41.2%)	9111 カーボングレイ 近赤外線:44.0%(全日射:22.9%)	9112 エバーグリーン 近赤外線:42.6%(全日射:20.7%)	9113 ラセットブラウン 近赤外線:43.0%(全日射:22.6%)
9114 キャピアブラウン 近赤外線:46.8%(全日射:23.2%)	9115 マホガニー 近赤外線:44.5%(全日射:22.5%)	9116 グリーンレイパー 近赤外線:40.5%(全日射:21.8%)	9117 ミッドナイトブルー 近赤外線:43.2%(全日射:21.1%)	9118 バーガンディ 近赤外線:51.1%(全日射:26.3%)
9119 トゥルーブラック 近赤外線:40.6%(全日射:19.4%)	9200 サンドグレイ 近赤外線:53.7%(全日射:33.4%)	9201 シルバーグレイ 近赤外線:77.9%(全日射:66.9%)	9203 スカイブルー 近赤外線:74.8%(全日射:51.1%)	9204 ジェイドグリーン 近赤外線:68.6%(全日射:52.6%)
9205 ナチュラルベージュ 近赤外線:64.6%(全日射:48.3%)	9206 アーモンド 近赤外線:64.5%(全日射:46.6%)	9207 ファウンテンブルー 近赤外線:80.9%(全日射:68.8%)	9208 ペールアクア 近赤外線:81.6%(全日射:68.0%)	9209 クレイ 近赤外線:73.0%(全日射:60.9%)

※あくまでサンプルの色味です。実際の色味とは異なりますので、必ずアステック屋根用色見本帳やアステック大判色見本帳FILE2をご確認ください。